

科目名	文章表現・読解			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1年 前期
【授業の目的・ねらい】 日々の課題や臨床実習で課題となるレポートの作成に必要な文章表現力や文章読解力を身につける。また、早期から国家試験に関係する基礎知識や勉強方法の一部を身につける。							
【実務者経験】							
【授業全体の内容の概要】 一般教養の用語や医療用語の読み書きを行い、用語の理解を深める。新聞社説や事例の読解と要約。 レポートの書き方やレポート作成 国家試験に向けて、必要な基礎知識の整理や勉強方法の仕方を学ぶ。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 一般教養の用語や医療用語の読み書き、用語の理解を深める。 課題として与えられたテーマに沿ってレポートを作成することができる。 国家試験に必要な基礎知識を身につけ、一つの勉強方法も身につける。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	漢字の読み書き 「一般教養の用語」「医学に関する用語」						教科書
2	漢字の読み書き 「ヒトのからだに関する用語」「リハビリテーションに関する用語」						教科書
3	漢字の読み書き 「国家試験によく出る用語」						教科書
4	読解（新聞社説の要約）						資料
5	読解（新聞社説の要約）						資料
6	読解（事例要約）						資料
7	読解（事例要約）						資料
8	レポートの書き方について レポートテーマ提示						資料
9	レポート作成						資料
10	レポート作成						資料
11	国家試験対策トレーニング						資料
12	国家試験対策トレーニング						資料
13	国家試験対策トレーニング						資料
14	国家試験対策トレーニング						資料
15	国家試験対策トレーニング						資料
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 ・入学前から学べる作業療法士のための漢字・熟語（JESC教材開発チーム）滋慶出版							
【準備学習・時間外学習】 読めなかった用語（特に医学用語）は必ず復習し読めるようにしておく。 事例について分からない単語や言葉を調べ、内容を理解できるようにしておく。 国家試験に必要な基礎知識の復習を行う。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点で成績を評価する 提出物の評価を40点、定期試験を60点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する							